

劇団アルテ第6回公演

音楽劇

『鼠のいない』

日曜日』

原作／安部公房 音楽／林 光 脚色・演出／藤枝 希

●日時：'94年

3月12日(土) 開演 PM. 6:00

13日(日) 開演 PM. 3:00
開演 PM. 6:00

※各公演とも開場は開演の30分前です。

●場所：アルスホール

(つくば市立中央図書館2F)

歌唱指導／堀部一寿


伴奏者／今井 奈々絵

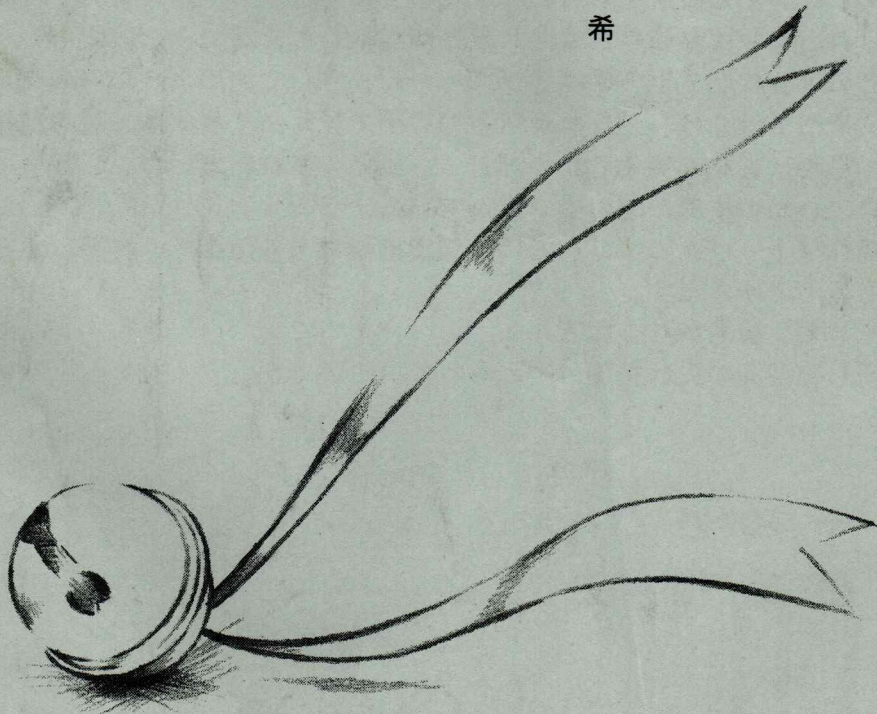
舞台美術／美雪希

照明／飯 司

制作／Patti

劇団アルテ ☎0298-52-0093

 Studio Ante



後援：

茨城教育委員会・つくば市教育委員会・

朝日新聞社つくば支局・毎日新聞社つくば支局・

読売新聞社つくば支局

『鼠のいない日曜日』

脚色・演出／藤枝 希

'90年、劇団アルテが旗揚げしてから早いもので丸4年。その最初の公演『ジーザス・クライスト＝スーパースター』のプログラムに、私はこんな主旨のことを書いています。

“終末の時代といわれ、様々な預言者たちが世の終わりを告げる今、私たちはどこへ行こうとしているのだろうか。一見幸せに思える何不自由のない生活の裏で、時々感じる正体不明の不安——私たちは確かに尊敬に足る指導者を求めている。もしも、目の前にその力を信じさせてくれる人物がいたら、彼は間違いなくスーパー・スターとして多くの信者を得るだろう。けれども、その先は？『ジーザス——』がそうであったように、民衆はまたしても彼を祭り上げ、甘え、頼り、期待し、最後には自分たちの望むようではなかったと切って捨てるのではないか——”
そうして、こうも書きました。

“すばらしい世界は、誰かが造り、与えてくれるものではない。救いの力は、自分自身の内にあるあるのだと信じたい”と。

その想いが、『星の王子さま』を経て3周年の、宮澤賢治『ポラーノの広場』へと続いたのです。

それは、ある成果をおさめてきたようにも思えます。

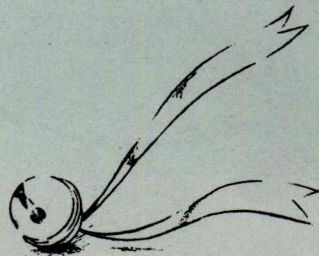
けれども、実際私たちはどれほど前へ進むことができたのでしょうか。

この4年の間、世の中はバブル——まさしく泡のように何の支えも持たずに浮かれ、そしてはじけ、バラエティ番組の影で見えかくれする、戦争前夜の翼賛政治、科学の進歩は神を嘲笑するかのごとく、価値の多様化といわれ、却って自己の基準を見失い、いつのまにか闇の中を歩いているようです。

前作『十一ぴきのネコ』では、環境破壊による汚染で、終幕。希望に満ちたネコたちも死んでゆきます。

そして、鼠もいなくなる……

新しい混沌の先は私達に委ねられているのです。



あいさつ

劇団アルテ团长/飯 司

本日は、劇団アルテ第6回公演『鼠のいない日曜日』にご来場いただき、誠にありがとうございます。前回公演『十一ぴきのネコ』からほぼ一年という充電期間を経て、こうしてまた舞台に立てることに、団員一同大変感謝しております。

さて、今回わたしたちは、“もう一度原点に戻ってみよう”というところから、舞台を見てもらう以上最低限の技術を養うために、まずは歌に重点をおいて練習をすることにしました。そして、その中には“もっと自分らしく自由に歌えるようになるために”という理由もありました。その結果出てきたのが、合唱劇「ねずみたちの伝説」を基にした、この作品でした。しかし、歌唱の技術力アップと芝居の両立に、わたしたちは悩まされました。けれども、その中で、団員一人一人が学び、つかめたものは、何かあったはずだと思っております。

……焦らず倦まず、ただ、今はそれだけです。

今までの成果を思う存分発揮できるかどうかは、今のわたしたちには言えません。ただ一言言えるとすれば、「この舞台を見ていただきたい」ということだけなのです。わたしたちには、まだまだ欠けているところ、未熟な部分、つたない箇所など多々ありますが、それでも、今のわたしたちだからこそやれる、今でなければできない、そういう舞台を続けていけたら、と願っております。

上演時間は一時間という長さでしかありませんが、その中で、原作の匂いを少しでもお伝えできれば幸いです。なお、これからも団員一同一層の努力をし、より良い舞台を創造していきたいと思っております。これからの劇団アルテの活動に、ご期待いただきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の公演にあたり、本当にたくさんの方々のご協力をいただくことができました。舞台とは、一人の人間の力では創れないものだ痛感させられます。この場をお借りして、心よりの感謝をいたします。

個性に合わせたカリキュラム

ピアッツァ・アルテ 音楽教室

ピアノ・声楽・リコーダー・
フルート・民謡・貸ホール
講師：堀部一寿、勝間田真理、他



バンド練習用貸スタジオ

スタジオ・フォンターナ

マーシャルギターアンプ、ヤマハ
ギターアンプ・ベースアンプ、パー
ルドラムセット、他、機材完備。

営業時間：AM9:00～PM11:00



お問い合わせ・ご予約は



Piazza Arte
ピアッツァ・アルテ

つくば市稲荷前26-9

☎0298-52-3721

スタッフ紹介

●脚本・演出：藤枝 希（専任講師）

1981年聖グレゴリオ宗教音楽研究所に第2期生として入所。その後吉沢演劇塾研究生課程を経て87年同塾塾生となり、88年の劇団「京」創立に参加。「プロポーズ」(ナターリヤ)「ロンドと夢と万華鏡」(スウ)「西の国は大騒ぎ」(オーナー)、「ロンドと～」では、舞台音楽も手掛ける。現在、劇団「京」にて俳優を続ける傍ら、同劇団主宰吉沢京夫による演出コースで学ぶ。つくばオペラフィオーレ「ヘンゼルとグレーテル」演出助手も担当。

●歌唱指導・指揮：堀部 一寿（専任講師）

劇団アルテの前身となる「ジーザス・クライスト・スーパースター」公演を企画して以来、劇団アルテとは切っても切れない関係にある。本業の音楽教室の講師の他、声楽家、リコーダー奏者、指揮者としても活躍するが、*以外にも*1男パパである。今回の作品は、学生時代、こんにゃく座主催のオペラ教室の卒業公演で演じたなつかしい作品である。（あの頃は若かった！）

●伴奏：今井 奈々絵（武蔵野音楽大学ピアノ科1年）

日頃、ピアノに向かい孤独に練習をしている私にとって、今回の伴奏のお話をいただいた時は、楽しみでもあり、またその反面、不安でもありました。芝居と伴奏のどちらかが先走りしては成り立たないので、息を合わせるという点で苦心しました。団員の方の熱意に圧倒され、どんどん劇中に引きこまれていく自分を感じました。団員の方と試行錯誤しながら1つの劇を仕上げるのは、たいへん勉強になりました。

団員から一言

太田雄人●オウガイ 出戻りジョンは またたくさん考えた。	パッチ●オウガイ 劇団アルテとは、 こういう集団です。	酒川さつき●オウガイ ピンポン、あなたの鐘を鳴 らしにきました。
桜井美保子● ねずみとしてすごす1日。 どうぞよろしく。	宇野希世子● 書いても話してもカタクなる 私は歌う。	P a p u ● 今回はむずかしい頭の中で音 がこわれていくうお～。
坂元えみ● 劇団アルテとは、 あやしい人の集団です。	飯泉一也● 今作品売出中の飯泉一也です 以後KAPPEEよろしく！	倉科智位● 今、ここにいるのは、 一年前とは違う私です。
しおり● アルテにいる自分が、 好きでいます。	縣 秀平● 今回の目標： くささ80%カット！ 地球にやさしい秀平ライト！	野田雪子● わたしはもっと ユキちゃんをかわいがって あげようとおもいます。